

第 8 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について②
 （高齢者アンケート調査結果の速報）

1 実施速報

下記のとおり、実施した。なお、この数値は、1 月 14 日現在で回収済みの調査票の集計結果であるため、回収件数等は最終数値ではない。15 日以降に回収した調査票についても、可能な限り集計に反映させていきたい。

調査の名称	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象者	対象者抽出日現在で要介護 1～5 の認定を受けていない高齢者。	対象者抽出日現在で要支援 1・2 又は要介護 1～5 の認定を受けており、かつ在宅で生活されていると思われる被保険者及びその家族等介護者。
発送件数	1,800 件	1,000 件
回収件数	1,222 件（回収率 67.9%）	610 件（回収率 61.0%）

2 速報値について

現時点の速報値については、資料 2-2「高齢者アンケート調査速報値一覧」を参照。

本速報値は単純集計のみであり、今後はコンサルの協力も仰ぎつつ、クロス集計等による詳細な分析を行った上で、令和 2 年 3 月末までに「東久留米市高齢者アンケート調査結果報告書」を作成し、協議会委員各位に配布する予定である。

以下、速報値の内容から一部を抜粋して紹介する（【 】内は資料 2-2 のページ数）。

(1) 「東久留米市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」について

- 【3 ページ】1 - 問 2「あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。」の設問では、87.7%が「介護・介助は必要ない」と回答する一方、7.1%が「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」と回答している。
- 【4 ページ】前回（H29 年度実施）調査と比較すると、例えば 2 - 問 1「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。」の設問では「できるし、している」が 71.5%（H29 調査）⇒ 65.2%（R1 調査）、「いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。」では 84.9%⇒78.9%など、身体能力の低下という傾向が見られる。これは、高齢者全体の年齢が上昇していることに起因するものと推定されるが、今後、高齢者の年齢層とのクロス集計を行うなどして分析を進める。
- 【13 ページ】5 - 問 2、問 3 の地域のグループ活動等への参加状況を尋ねる設問については、「ぜひ参加したい」及び「参加してもいい」の回答の割合の合計が、「参加者として」の参加で 58.7%、「企画・運営者としての参加」で 33.9%であった。

- 【16 ページ】7 – 問 2 の「幸せ」と感じる度合いを 0 点～10 点で尋ねる設問では、最頻値が 8 点、平均の点数が 7.1 点となった。
- 【20 ページ】8 – 問 7「介護・介助が必要になったとして、どのような生活を希望しますか。」という設問については、「自宅で主に介護サービスなどを利用したい」が最も多く 38.3%で、「介護施設等の施設サービスを利用したい」の 23.9%、「自宅で主に家族や親族に介護をしてもらいたい」の 16.9%が続いた。また、問 8「人生の最期の時期をどこで迎えたいと思いますか。」という設問では、「自宅」が最も多く、40.5%だった。

(2) 「東久留米市在宅介護実態調査」について

- 【25 ページ】A 票 – 問 7「現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。」の設問では、「入所・入居は検討していない」が 74.1%、「検討している」が 14.8%であった。
- 【29 ページ】A 票 – 問 10 の「要介護（要支援）認定を申請したがサービスを利用していない理由」を問う設問では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 35.4%、「本人にサービス利用の希望がない」が 21.2%となった。
- 【29 ページ】A 票 – 問 12「今後の在宅生活の継続に必要と感じる介護保険サービス外のサービス」を問う設問では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（22.5%）、「外出同行（通院・買い物など）」（14.6%）、「掃除洗濯」（13.1%）、「配食」（12.3%）などが高かった。
- 【32 ページ】A 票 – 問 21「人生の最期の時期をどこで迎えたいと思いますか。」という設問では、「自宅」が 49.8%で、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の対象者の 40.5%を上回った。
- 【34 ページ】B 票 – 問 1「主な介護者の方は、どなたですか。」という設問については、「子」が最も多く 50.1%で、「配偶者」が 35.1%、「子の配偶者」が 5.7%であった。また問 3 では、主な介護者の 65.4%は介護者と同居しており、問 4 の主な介護者が行っている介護等で割合が大きかったものは「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（74.4%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（66.5%）、「通院」（65.1%）、「食事の準備」（63.5%）などであった。
- 【35 ページ】B 票 – 問 5 では、「介護をするようになってからの生活状態」について、「やや余裕なし」「余裕なし」と感じている割合の合計は 60.0%であった。
- 【37 ページ】B 票 – 問 13「介護を行う上で特に困っていること」としては、「心身の負担が大きい」が 36.8%で最も多く、「介護者のリフレッシュのための時間がとれない」（23.4%）、「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」（22.9%）などが続いた。
- 【40 ページ】B 票 – 問 27「主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか」の設問では、「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合の合計が 77.2%であったが、「やや難しい」「かなり難しい」の割合の合計も 18.4%になった。